



高次脳機能障害とは

事故や病気などによって、脳が損傷すると、損傷部位によって記憶・注意・思考・行為・言語などの認知機能に障害が生じることがあります。

外見からは分かりにくい、周囲の理解を得にくく、支援につながりにくいという特徴があります。

こうした困難に対し、令和8年4月1日施行の「高次脳機能障害者支援法」では、障害の理解を促進するとともに、医療から生活・社会参加まで切れ目なく支援できる体制づくりを進めることとしています。



どこに相談したらいいの？

利用できる制度やサービスは、障害の程度や原因、年齢などによって異なります。まずは、医療機関のソーシャルワーカーやお住まいの市町窓口にご相談ください。

栃木県高次脳機能障害者支援センターでは、ご本人、ご家族、地域の支援者からの相談をお受けしています。お困りの際にはお気軽にご相談ください。

また、家族・当事者団体では、悩みや不安を共有したり、意見交換をしながら、ご本人を支えるご家族を支援しています。

栃木県高次脳機能障害者支援センター のご案内

主な支援内容

■ 相談支援

- ・ご本人、ご家族、支援者からの相談対応
- ・医療・福祉・就労等の関係機関との連携支援
- ・利用できる制度やサービスの情報提供

■ 研修事業

- ・相談支援従事者向け研修
- ・医療従事者等研修
- ・家族教室の開催

■ 普及啓発

- ・高次脳機能障害セミナー
- ・県政出前講座
- ・リーフレットやホームページによる情報発信

相談・お問い合わせ

〒320-8503

宇都宮市駒生町 3337-1

(栃木県立リハビリテーションセンター内)

☎028-623-6114

受付時間 / 利用方法

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

電話相談 8:30～17:15

来所相談 9:00～17:00(予約制)

詳しくはホームページをご覧ください。▶

栃木県高次脳機能障害者支援センター

検索



高次脳機能障害の 理解のために



栃木県高次脳機能障害者支援センター
(栃木県障害者総合相談所)



高次脳機能障害の主な症状と対応 / 日常生活の様子をチェックしてみよう



【記憶障害とは？】～覚えられない～

病気や事故の前に経験したことが思い出せなくなったり、新しい経験や情報を覚えられなくなった状態をいいます。

特に、脳外傷や脳血管疾患による記憶障害では、古い記憶は良く保たれている一方、新しいことを覚えることが難しくなります。

症状

- ☐ 新しいことが覚えられない
- ☐ 忘れっぽいことに気づいていない
- ☐ 日付や場所が分からない
- ☐ 昔のことが思い出せない



対応

- ・一度に覚える情報量を少なくしましょう。
- ・言葉で覚えるよりも、絵や写真、図などを活用して覚えるようにしましょう。
- ・記憶だけに頼らず、メモや予定表などを利用する習慣をつけましょう。

【遂行機能障害とは？】～行動にまとまりがない～

生活する上で必要な情報を整理し、目的をもって計画し段取りをつけて処理していく、などの「一連の作業」を行うことが難しくなる状態をいいます。

また、自分の行動を評価したり、分析することが難しくなるため、必要に応じて計画の変更をするといった対応をとることが難しくなります。

症状

- ☐ 計画が立てられない
- ☐ 優先順位が決められない
- ☐ 段取りが悪くテキパキ要領よくできない
- ☐ 行動の途中で混乱する



対応

- ・指示はあいまいな表現を避け、具体的で分かりやすいものにしましょう。
- ・行うべき行動が目に見えるよう、「手順」を書き出しておきましょう。
- ・時間に余裕をもって計画を立てましょう。

【注意障害とは？】～気が散りやすい～

周囲からの刺激に対し、必要なものに意識を向けたり、重要なものに意識を集中させたりすることがうまくできなくなった状態をいいます。

また、気が散りやすく疲れやすいため、作業が長続きしないことがあります。

症状

- ☐ 集中できない
- ☐ うっかりミスが多い
- ☐ 持続性に欠ける
- ☐ 二つのことに気を配れない



対応

- ・一度に多くのことをせず、一つ一つ確実にを行うことができるようにしましょう。
- ・作業は、整理整頓された静かな場所で行いましょう。
- ・情報量が多いときは、要点を分かりやすくしましょう。

【社会的行動障害とは？】～感情のコントロールが苦手～

行動や感情を場面や状況に合わせて、適切にコントロールすることができなくなった状態をいいます。

病気や事故の前と人が変わったようになり、さまざまな適応上の問題が生じることがあり、社会生活や社会参加がより困難になることがあります。

症状

- ☐ 固執性：こだわりが強い
- ☐ 抑うつ：落ち込んで何もできない
- ☐ 欲求コントロール低下：我慢ができない
- ☐ 依存性・退行：子どもっぽくなった
- ☐ 自発性の低下：自分では何もしようとしない
- ☐ 対人技能拙劣：人間関係を作るのが苦手
- ☐ 感情コントロール低下：ささいなことで怒り出す



対応

- ・不適切な行動を叱ったりせず、はっきり指摘するようにしましょう。
- ・疲労やイライラする様子が見られたら、ひと休みして気分転換しましょう。
- ・問題となる行動の原因を探し、なるべく避けるようにしましょう。



上記症状の他にも、失語症・失認症・失行症・地誌的障害・病識欠如・半側空間無視などの症状があります。

高次脳機能障害の症状は、周囲の環境を整えたり方法を工夫することで、できることが増えたり問題となる行動が減ったりすることがあります。